



薫泉

学校の目標
社会の変化に自ら対応でき、豊かな心をもち、表現力豊かな国際人を目指し、次のような子どもを育成する。
・よく考え、進んで学習する子ども
・いつも元気で、じょうぶな子ども
・こころ豊かで、やさしい子ども

とっさの振る舞いの中こそある矢口魂

校長 井上 光広

六月十四日のホームページ「子どもの心の宝探し」の記事でも紹介しましたが、より多くの方々知っていただきたい内容なので、薫泉でも掲載します。

六月十日、ある女の方からお電話をいただきました。その方は七十二歳の大田区民だとおっしゃっていました。そして次のようなことをお話ししてくださいました。

「先日、道ばたで、矢口渡駅までの道のりが分からなくなり、小学校三、四年生ぐらいのお子さんにたずねたところ、とてもいいねいに教えてくれました。そのうえ、『教えてくれてありがとう。』とお礼を言ったところ、『お氣をつけてください。』と言ってくれたのです。その心のやさしさに大変感激しました。あまりにもうれしかったので、校長先生に伝えなくてはならないと思って、お電話しました。」

こういうお話でした。この姿こそまさに学校教育目標の「こころ豊かでやさしい子ども」であり、矢口魂があらわれた姿です。道ばたでのとっさの態度というものは、その子の心の根っ子がそのまま表れます。たった一度の出会いで、この女性の心を感じさせた、この三、四年生の子のやさしい振る舞いこそが、矢口魂の目指す姿です。このお手本を忘れずに、いつでもどんな所でも、やさしい人であるように、子どもたちを育てていきます。

矢口小学校の目指す教師像（大人像）

私の学校経営方針には児童像だけでなく、目指す教師像も示させていただいています。次に紹介するアメリカの教育者ウィリアム・A・ウォードの名言を教師（親にも当てはめられます）の力量の判断基準にすることができそうです。

凡庸な教師は指示をする。

良い教師は説明する。

優れた教師は範を示す。

偉大な教師は子ども心に火をつける。

「くしなさい」「くしようね」と指示語を多く使う人は凡庸な段階。「くはく」ということなのです」「くするのはくだからです」と説明できる人は良い段階。整理整頓・健全な生活リズム・学ぶ習慣など子どもの模範になる行動をしている人は優れた段階。そして、子どものやる気や思いやり、奉仕の心、挑戦など、心の中に火をつけ、自ら行動していけるように導いている人が最高段階。矢口の大人は、いつも偉大なる大人を目指しましょう。

◎水泳学習について

今年度は授業中も夏季休業日中も回数を減らして水泳指導を行います。水泳をさせるのは心配だから見学させたいという場合は、連絡帳でお知らせください。

◎オリ・パラ観戦について

現時点で教育委員会から変更の指示はありませんので、観戦予定は次のようになります。
七月三十一日（土）午後 五・六年生
八月 一日（日）午後 三・四年生
八月二十五日（水）午前 一・二年生
会場はすべて辰巳周辺で水球・水泳観戦になります。

安全な生活をしよう

生活指導部

少しずつ気温が高くなり、過ごしやすい季節になりました。今月の生活目標は「安全な生活をしよう」です。梅雨の日の教室遊びや廊下の歩き方、気温の高い日には熱中症対策のためにこまめな水分補給など、子どもたちに事故やけがを未然に防ぐために何が必要か声を掛けていきます。加えて、今年も感染拡大防止策として、正しい手洗いや密を避けることも、しっかりと指導していききたいと思います。

また、六月二十八日（月）から水泳の学習が始まります。水難事故から身を守るためにも大事な学習になりますので、安全に十分配慮した、水泳指導を行っていきます。

運動会について

運動会委員長

本校では、六月五日（土）に運動会を実施いたしました。緊急事態宣言下ということもあり、教育を最優先したいという考えにより、保護者参観無しの、子どもたちだけの運動会とさせていただきます。保護者の皆様につきましては、ご理解いただき本当に感謝しております。またライブ中継してくださったPTAやお父さんクラブの皆様、本当にありがとうございます。

下級生が上級生の演技や競技をしている姿を見られたこと、上級生が下級生を意識して運動会を盛り上げようと頑張っていたこと、随所で矢口小学校としてのすてきな姿が見られました。このような形で運動会が実施できたことで、子どもたちの学びはとても大きかったことと感じます。

子どもたちが大きく成長した運動会、この成長をこれからの教育活動にも十分に生かしていきたいと思っています。